

明石商センバツへ

近畿で準V、夏春連続



昨秋近畿大会の登録メンバー

部長 浦井 佑介
監督 狭間 善徳
投手 中森 俊介①(篠山 東)
捕手 水上 桂②(宝塚第一)
一塁 水田 彩斗②(魚住)
二塁 清水 良②(太田)
三塁 ◎重宮 涼②(大久保)
遊撃 河野 光輝②(衣川)
左内野 溝尾 海陸②(御津)
中内野 来田 涼斗①(神戸長坂)
右内野 安藤 碧②(井吹台)
控 宮口 大輝②(宝塚殿)
〃 南 瑛斗②(宝殿)
〃 宮下 匡雅②(朝日)
〃 百々 亜佐斗②(宝梅)
〃 横山 虎太郎②(青雲)
〃 宮本 啓吾②(大阪・箕面一)
〃 杉戸 理斗②(長尾)
〃 岡部 宇裕②(向洋)
〃 岡田 光②(別所)
(注) 丸中数字は学年、カッ
コ内は出身中学、◎は主将

第91回選抜高校野球大会(3月23日から12日間・甲子園球場)の出場32校を決める選考委員会が25日、大阪市内で開かれ、近畿地区一般枠で明石商が選出され、3年ぶり2度目の出場が決まった。

明石商は昨秋の近畿大会で準優勝。1回戦は京都国際(京都)に逆転勝ちし、報徳との兵庫対決となった準々決勝は4-0で完封勝ち。智弁和歌山(和歌山)との準決勝は12得点で快勝し、初の決勝に進んだ。決勝は龍谷大平安(京都)と延長十二回の接戦を演じた。

1953年創立の明石市立の商業高校。初出場だった2016年の選抜大会はベスト8に進出した。昨夏の西兵庫大会で初優勝を飾り、甲子園出場は夏春連続。

組み合わせ抽選会は3月15日、大阪市内で行われる。

昨秋の近畿大会1回戦で京都国際を下し喜ぶ明石商ナイン
2018年10月21日、はつともとフィールド神戸